

中間処理における廃棄物の前処理について(例)

破砕処理の必要な物の例

・災害がれき



仮置場で不燃、可燃別に性状ごとに粗選別し、可燃物を前処理施設に搬入し破砕

・草本、木質系

①



ロールを搬入し重量を測定後、ラップ等を取り除き、裁断機で裁断又はチップパーで粉砕

・粗大ごみ系



仮置場で可燃のものを粗選別し、前処理施設に搬入し破砕

②



フレキシブルコンテナバッグなどに密封して搬入。



フレキシブルコンテナバッグを開封して取り出し、破砕機にて破砕

破砕処理の不要な物の例

・生活ごみ系

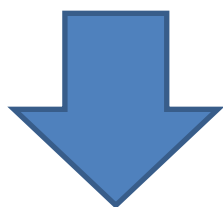


フレキシブルコンテナバッグや回収袋など形状で搬入
また、パッカー車等で搬入するケースも想定

・汚泥系



フレキシブルコンテナバッグなどに密封して搬入。
フレキシブルコンテナバッグを開封し、焼却炉へ投入

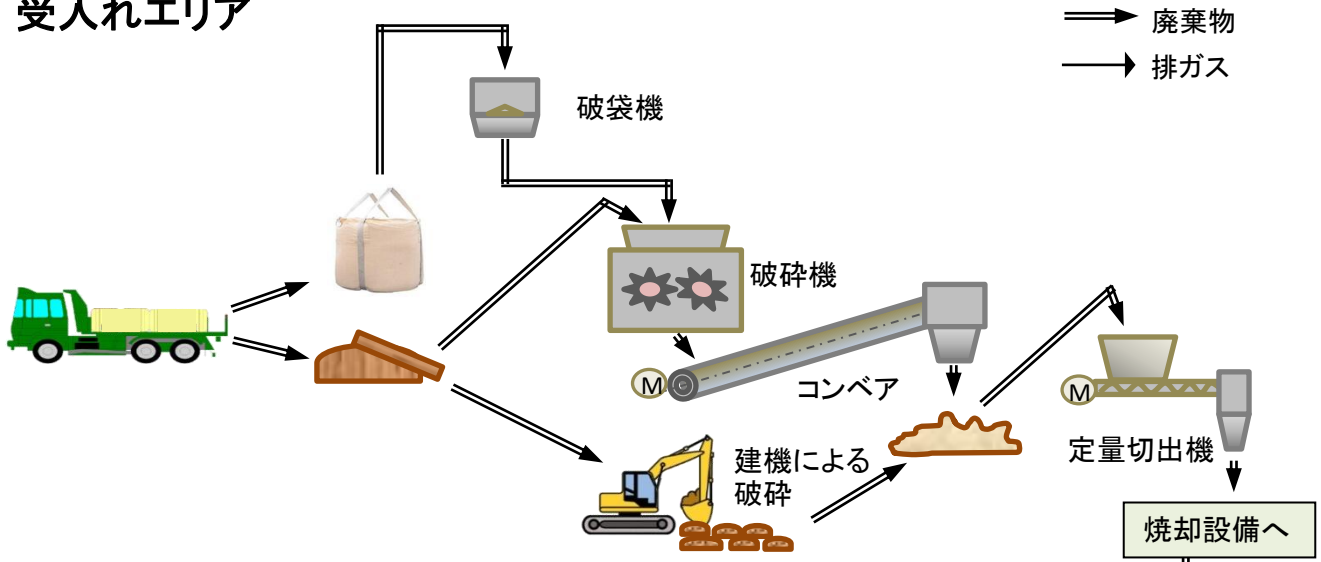


廃棄物の調整

・焼却等の処理を安定的に行うため、混合等の調整により熱量などを均質化

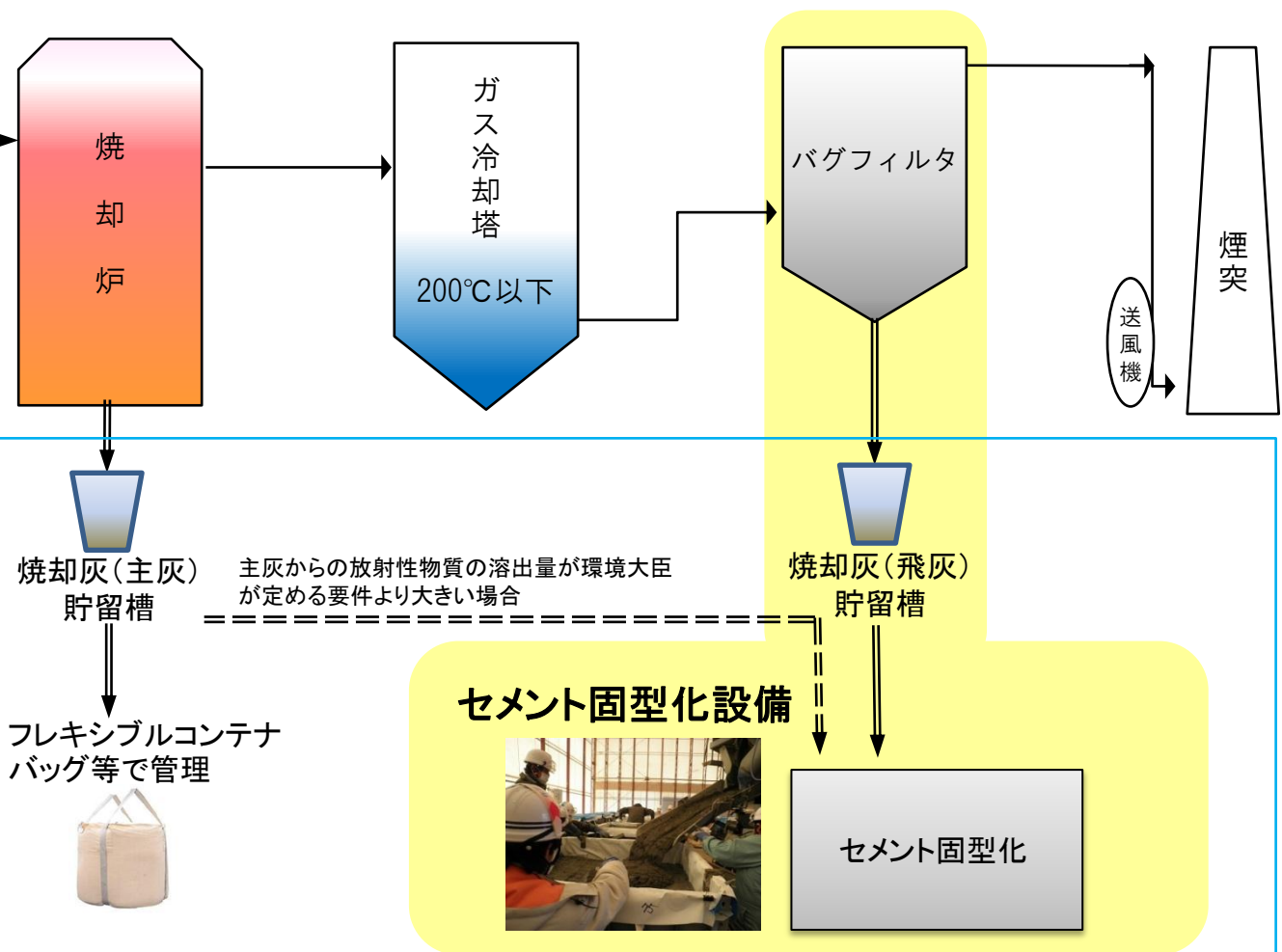
焼却処理の流れ(例)

受入れエリア



焼却設備

※ストーカ炉の場合



非密封線源取扱エリア

高濃度の廃棄物を扱う可能性が比較的高いエリア